

私は公明党を代表し、ただいま議案となっております、議案第 1 号令和 8 年度野田市一般会計予算及び議案第 2 号から議案第 4 号までの令和 8 年度各特別会計予算並びに議案第 5 号令和 8 年度野田市水道事業会計予算及び議案第 6 号令和 8 年度下水道事業会計予算につきまして、全ての議案に賛成の立場で討論いたします。

内閣府は、物価や賃金の上昇等に対して、国民の命と暮らしを守り、安心して医療・介護・福祉サービスを受けられる体制を整備していく上で、人口や世帯構成の変化により、受益と負担のバランスが変化することに対応し、適切な制度の効率化や資源配分の最適化を図り、各種の制度改革を行うことで、社会保障システムの確立を図ることとしました。また我が国の経済は、高齢化が加速するなか、社会保障関係費が 0.52 兆円を加算し、防衛力強化に基づく対応や、子供・子育て支援の推進、さらに教育無償化の実現など、重要施策の充実が見直されました。

そのような国の方針の下、野田市令和 8 年度予算編成にあたっては、一般会計で、616 億 5,800 万円、対前年度予算比 2.5%増であり、過去最大の予算規模となっています。

歳入においては、市税が対前年度当初予算比で大幅な増収見込みとなったほか、地方消費税交付金をはじめとした各種交付金の多くが増収見込みとなったことから、地方の財源不足を補う普通交付税は、減収見込みとなったものの、市税等の一般財源総額は大きく伸びております。

一方の歳出につきましては、社会保障関係費が大きく伸びていることに加え、物価高騰の影響により、人件費、物件費等の経常経費が大幅に増加していることを勘案すると、必要予算を確保するのに苦慮する厳しい状況となっていると推察いたします。そのような状況のなか、子ども医療費助成や小中学校トイレ洋式化改修等の未来を担う子供たちに向けた事業展開は、元気で明るい家庭を築ける野田市の実現のために努力された施策であると大いに評価できます。

次に主な予算事業項目の評価要因としましては、災害時の避難所として指定されている体育館において、避難所体育館等空調設備設置事業として、近年の猛暑等を踏まえ、早急に空調設備設置工事に対応した事業を評価いたします。

また物価高騰に対する生活者支援として、水道基本料金 4 か月分の免除や省エネ家電製品買換促進事業についても評価いたします。さらに、災害備蓄の充実、防犯対策費用助成金、介護人材確保対策事業の拡充についても評価いたします。

その他、特別会計予算におきましても、それぞれの事業目標に沿った予算編成となっており、適切であると評価いたします。

また水道事業会計及び下水道事業会計においても適切であると評価するとともに、水道事業に関しては今後とも徹底した企業努力で、安全で安心できる水の供給に全力で取り組んでいただきますよう要望いたします。

最後になりますが、市民のためのまちづくりを行うことで、野田に住んで良かった、野田に住み続けたいと、次の世代、またその次の世代までもが思えるような、公平性・透明性の確保された無駄のない野田市の予算執行を要望いたしまして、賛成討論いたします。